

二中HPブログ（令和七年七月）

【摘芯】070701

大きくなったかな？1年生はトウモロコシとキュウリの育ち具合を観察。タブレットに画像を保存した後は、キュウリの摘芯作業を行いました。



雌花やわき芽、余分なつるを摘み取ることで、親づるが元気に育って実がなりやすくなりま



す。直前に座学で確認してから作業を始めましたが、どれが「雌花やわき芽、余分なつる」かが分かりません。「それはちが～う！」というF先生の声が飛んでいます。上手に育てば目標は一株当たり30本です。（と園芸雑誌には書いてありました。）

【7月豪雨】070702

令和2年7月3日から4日にかけて1時間の降水量が30mmを超える激しい雨が降り続き、芦北町にも甚大な被害をもたらしました。当時私が勤務していた湯浦中は、プール裏斜面と自転車小屋奥斜面の2か所が大きく崩落しました。特にプールは落下まであと2mという状態でした。また、校区の女島地区で発生した土石流により、職員のご両親がお亡くなりになりました。



私の息子夫婦も佐敷中学校の近くに住んでいましたが、夜中の3時頃に消防団の方に起こされて緊急避難をしました。スカイドームに避難しようとしたところ、佐敷中の手前で奥さんの車は深い水にタイヤをとられ流されました。後ろを別の車で走っていた息子が窓から引き出して逆方向に避難。芦北の給食センター駐車場の車の中で一夜を過ごしました。翌朝、水が引いてから帰宅すると床上浸水。4月に入れた家具の多くは水没しました。和室に置いていたテレビは、畳ごと水に浮いて助かったそうです。佐敷中、芦北高校の近隣に住んでいた先生方も、急激な水の増え方を2階から見て、車をあきらめたとのことでした。

7月6日（月）～8日（水）の3日間、芦北町の学校は臨時休校となりました。各校の職員は学校の被災個所の確認や大きな被害を受けた佐敷中学校の片付けの手伝いなど、復旧作業で1日を終えました。水俣市の各校や各学校のPTAの皆様からもたくさんのご支援をいただきました。生徒たちは「嵐」からの支援グッズが一番嬉しかったようでした。F先生はまだ持っているでしょうか。アイドルの力はすごいですね。

あの時は「あれほど降ったのに、ここまで水は来なかった。」「ここは崩れなかった。」が一番危険です。次に同じような災害が起こったときは7月豪雨が基準となって正常化バイアスが働きます。



【避難所設営】070703

今日は令和2年7月豪雨が発生した日です。(写真は当時の新聞です。)3年生は避難所設営シミュレーション学習に取り組みました。体育館を避難所として、通路、各家族のスペース、掲示板等の基本的な配置を決めました。その後は停電、断水等の厳しい条件の中で追加される「着替えをしたい」「洗濯をしたい」など避難者からの様々な要望にどう対応するかを検討しました。



【G T講話（大澤さん）】070704

1年生は総合的な学習の時間で「水俣について知る」をテーマに、「食」に携わる皆様のお話を聞く機会を設けています。

第1回は無農薬の柑橘栽培をされている「からたち」代表の大澤基夫さんです。無農薬栽培を始めたきっかけ、なぜ「からたち」という名前にしたか、現在の取組などいろいろなお話を聞くことができました。

大澤さんは強豪水俣高校力ヌー部のコーチもされており、チームを今年も九州大会とインターハイへの出場に導かれました。○先生も○Bで、高校生時代は随分鍛え上げられたそうです。



【ビーチボールバレー大会】070705

水俣高校体育館で、水俣市PTA連合会のビーチボールバレー大会が開かれました。二中からは3チームが出場、決勝トーナメントでは二中同士の対戦もありました。二中PTAはAチームが準優勝に輝きました。大会後の他校との交流会ではチームワークの良さを見せ優勝（会場認定）でした。



【教科書2】070706

教科書が変わった話の続きです。今回は明日の七夕に関連して星の話です。

携帯電話の「すいきんちかもくどってんかい」、「～、～、速いんかい」のCMであれっと感じた30歳以上の方、お気持ちはよく分かります。「宇宙大帝ゴッドシグマ」のエンディングテーマで太陽系の惑星の並びを刷り込まれた私は、「かいめいじゃないの？」と違和感でいっぱいです。

さらに、1979（昭和54）年2月7日から1999（平成11）年2月11日までは軌道の関係で最後は「めいかい」でした。

ところが、冥王星は2006（平成18）年の国際天文学連合総会で準惑星に分類されたため、教科書に補説が入ったりしながら、平成24年度以降の教科書では「水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星」の8つです。

英語では、水星 Mercury（マーキュリー）、金星 Venus（ヴィーナス）、地球 Earth（アース）、火星 Mars（マーズ）、木星 Jupiter（ジュピター）、土星 Saturn（サターン）、天王星 Uranus（ウラヌス）、海王星 Neptune（ネプチューン）。授業で扱うと一昔前の中学生は○○ムーンだと喜んでいました。



【七夕】070707

「しちせき？」「ななゆう？」なぜ「たなばた」。今日は令和7年7月7日です。入籍された方も多いと聞きます。おめでとうございます。

日本には神様を迎えるために水辺に設けた機屋に入り、棚機（たなばた）と呼ばれる機織り機で神様に捧げる神御衣（かんみそ）を織りあげる女性「棚機つ女（たなばたつめ）」の伝説がありました。それが、中国の織姫と結びついて七夕「しちせき」を「たなばた」と読むようになったとか。

おり姫星（こと座のベガ）と、ひこ星（わし座のアルタイル）の距離は光の速さで15年かかる距離です。「来年また会いましょう。」と言って別れた2人が実際に会えるのは、光の速さで家に帰るや否や光の速さで折り返して15年後の30歳の時。私の年になるまで4回しか会えません。

ウルトラマンタロウに登場する地球防衛隊ZATの車がウルフ777ということにちなんで。光の速さはマッハで表す音速の88万倍です。現在1万2千歳のタロウが最高速度のマッハ20で飛んだときに、どのくらいの時間で往復できるでしょう。

【GT講話（農山さん）】070708

1年生は総合的な学習の時間の「水俣について知る」学習の中で、地域の食に携わる皆様から多くのことを学んでいます。2回目はモンヴェール農山の農山文康さんに講話をお願いしました。



農山さんは「公害が起こった水俣に住み、水俣で仕事をしているからこそ発信していきたい。発信し続けることが大切。」という想いで、独自の循環システムにより、生産者と消費者どちらも幸せになるような「山を育てるために豚を飼う」取り組みをされています。

【県総体選手激励式】070709

5日の県代表者会の抽選で二中生の対戦相手が決まりました。いよいよ12日から県中学校総合体育大会です。昨日は選手激励式を行い気持ちを高めました。出場するのは軟式野球

(一中・二中・袋中・緑東中合同)、女子バスケットボール(一中・二中・緑東中)、サッカー(一中・二中・袋中)、剣道(一中拠点校)、空手道、陸上競技(陸上部とフィオーレAC)、社会体育から新体操(水俣ジュニア新体操)、水泳(水俣悠泳クラブ・芦北スイミングクラブ)、柔道(EDGE&AXIS)の皆さんです。フェアプレーの精神で、風格ある二中生としての誇りをもって大会に臨みましょう。

なお、大会日程は11日のHPにアップします。応援よろしくお願ひします。

【GT講話(長友)さん】070710

2年生は9月に職場体験学習を行います。4日は職業講話でパーティシェールの長友美波さん(お菓子の国あん・さんく)からお話を聞きました。生徒の感想を読んでみると、11年間修業をされたこと、お菓子を作ることしかイメージになかったけど、重い材料を運んだりと力仕事が多いこと、使う材料は農家を訪ねて自分の目で見て決めていることなどのお話が心に強く残ったようです。職場体験で学びを活かしたいとの声も多くありました。



【県中学校総体】070711

明日12日(土)から以下の県内各会場で熊本県中学校総合体育大会が開催されます。応援よろしくお願ひします。(初戦以降は本校勝利の場合の日程です。)

12日(土)

軟式野球 川上哲治記念球場(人吉市) 対 長嶺中学校(熊本市) 11:30
新体操 芦北高校体育館 10:20 柔道 山鹿市総合体育館 9:30

13日(日)

軟式野球 多良木球場 2回戦9:30 空手道 菊陽総合体育館 個人形9:10
柔道 山鹿市総合体育館 9:30

19日(土)

軟式野球 川上哲治記念球場 準決勝9:30 決勝14:00
バスケットボール女子 益城町総合体育館 対 三和中(熊本市) 12:10
陸上競技 えがお健康スタジアム 9:00
サッカー 県営八代運動公園陸上競技場 対 山鹿・鹿本合同(山鹿) 9:30
剣道 山鹿市総合体育館 11:20 水泳 アクアドームくまもと 9:30

20日(日)

バスケットボール女子 山都町総合体育館パステル 準決勝9:30 決勝12:10
陸上競技 えがお健康スタジアム 9:00
サッカー 県営八代運動公園多目的広場 2回戦9:30
剣道 山鹿市総合体育館 10:00 水泳 アクアドームくまもと 9:00

22日(火)

サッカー 県営八代運動公園陸上競技場 準決勝9:30 決勝15:00

【田浦水害（前編）】070712

二中の皆さんに話をするのも今年度が最後ですので、災害に関することは繰り返し伝えておきたいと思います。

私が高校2年生だった昭和57年7月12日（月）の昼前のこと、「田浦中出身の生徒は集まってください。」という放送が入りました。何かと思って指定された教室に行くと、「田浦が大変な大雨になっていて、帰すことができない。水俣の友達の家に泊まるように。」との説明がありました。「いつも通り朝6時過ぎの列車に乗って駅を出たのに、水俣もそんなに降ってはいないのに。急に泊まれと言われても困るのに。」情報源も今とは違うスマートフォンもなく、私たち高校生には切迫感はありませんでした。

午前10時までの1時間の雨量は65mm、1日の雨量が328mm。不知火海の満潮とも重なって田浦川等が氾濫、肥後田浦駅周辺や小中学校周辺も家屋への浸水が続出したとのこと。テレビには駅前の被害の様子が映し出されました。

八の字坂の線路側にあった同じクラスの友達の家（今村商店）に、田浦中出身の3人で泊まらせてもらいました。テレビのニュースはずっと大雨関係ばかり。不安な夜を過ごしました。

翌朝、高校が借りたバスで田浦へと向かいました。国道3号線は渋滞、8時間近くかかって田浦に着きました。途中は泥道。船江付近では、甘夏ミカンの木が根が付いたままで海に浮かんでいました。色の変わった壁を見て、水の高さに驚きました。町中、泥の匂いがしました。あちこちに消毒のための石灰が巻かれていました。

【田浦水害（後編）】070713

当時の記録を読むと、田浦では11日から14日にかけて1時間雨量65mm、2時間雨量120mmと短時間に集中して降り、田浦川等、吉尾川等が氾濫して大きな被害が発生したとあります。ちなみに、雨量は令和2年7月豪雨の方が多かったそうです。

私は水俣にいたため、田浦水害のまさにその時の怖さは体験していません。聞くところによると、小学校の運動場横の土手が決壊し、大量の水が流れ込み運動場が見る見るプールのようになったそうです。低学年だった私の弟たちは怖くて泣きだしたそうです。

ある先生は当時保育園入園前だったそうですが、庭に水がどんどん入ってきた記憶があるそうです。お母さんは小学校からの電話連絡を受け、膝上まで水につかりながら、宮坂医院前の三差路に張ってあったロープを伝って、低学年のお姉さんを学校まで迎えに行かれたそうです。

私の父は学校からの電話を受け「学校が一番安全だけん、学校に残してください。」と言ったそうです。家庭も学校も判断が難しい状況だったと思います。

「天災は忘れた頃来る」物理学者で俳人の寺田寅彦氏がしばしば語ったという言葉があります。災害は語り伝えないと風化していきます。隣町の出来事で、二中生に直接の被害はなかったため、令和2年7月豪雨の記憶はほとんどの子どもたちには残っていません。7月12日と7月3日を「絶対はない」「想定外のことを想像する」と言うことを肝に銘じる日、生徒に記憶を伝える日にしています。

【上級学校説明会】070714

明日15日（火）から3年生の三者面談です。11日（金）には3年生と保護者を対象にして国立熊本高等専門学校、八代高等学校、八代白百合学園高等学校、秀岳館高等学校、芦北高等学校、出水中央高等学校、水俣高等学校、自衛隊熊本地方協力本部水俣地域事務所から来校いただき、上級学校説明会を行いました。とある高校の説明を聞いて「〇〇高校に行こうかなあ。」と話していた生徒もいたそうです。



水俣高校の説明には二中卒業生と湯浦中校長の時の生徒も来ました。驚きました。嬉しくなりました。中学生の時の担任にすぐ報告しました。

自衛隊の説明には教師生活最後の担任の生徒である二中卒業生のNKさんが来ました。さらに驚きました。会うのは成人式以来です。さらに嬉しくなりました。彼はボーカルをやっていてボランティア活動に興味を持っていたこともあります。小学生の頃に父親と宝川内地区の被災現場で救助や復興に当たる自衛隊の皆さんを見て、自衛隊を志したそうです。成人式後の同窓会では、挨拶・整理整頓・時間厳守といった自衛隊で学んだことについて話してくれましたが、10年たってさらに成長した姿に感動しました。

説明会の頃、突然雨が降りました。曇りの天気予報を信じ、外に出してきた洗濯物も全く気にならなくなりました。心が晴れの日になりました。

【モス日通信⑤】070715

モス日通信第5号はパスポートについて。全文は添付ファイルをご覧ください。

現在日本には大きく分けて4種類のパスポートがあります。1つ目は一般旅券(Ordinary Passport)といわれるものです。一般旅券は2種類（紺色と赤色）の色があります。この色の違いは使用可能な年数です。5年用旅券（紺色）は申請日に18歳未満の人が取得できます。18歳以上の方も選択可能ですが、容姿の変化が著しい未成年者に推奨されます。10年用旅券（赤色）は申請日に18歳以上の人が取得できます。最も一般的なパスポートです。用途としては、国の用務ではない、個人的な旅行や留学、仕事など、一般の海外渡航に利用されます。今回偽造防止のため顔写真ページがプラスチックに変更されました。

2つ目は公用旅券（Official Passport）といわれるもので緑色の表紙をしています。用途としては、国会議員、公務員などが公務で外国に渡航する場合に発給されます。今回私はこのパスポートでモスクワ日本人学校に赴任しております。モスクワにいる日本にルーツを持つ子供たちの教育を行いながら、日本へ様々なことを発信していくことが大きな役割だと思っています。



【GT講話（森下さん）】070716

8日（火）は森下誠さんに全校生徒を対象にした講話をお願いしました。森下さんは高校卒業後に愛知県の自動車部品製造会社に入られましたが、自然の中で働きたいと、海洋生物を学べる専門学校を経てダイビング店に勤め国内外の海に

潜られました。帰郷されて1年間の潜水調査の後、平成21年に「水俣ダイビングサービスSEA HORSE」を開業されました。

その後はテレビ出演や新聞等の取材、小中学校での講演を通して水俣の良さを発信する活動に取り組まれており、令和5年度の熊本県PTA研究大会芦北水俣大会では、水俣会場の講師を務められました。また、辰年にちなみ、令和5年から6年にかけてのNHK「ゆく年くる年」にもヒメタツと一緒に水中から出演されました。今日は映像を交えながら故郷水俣への思いを熱く語っていただきました。



【研究授業】070717

昨日の5時間目はF Y先生と給食センターのH先生が研究授業を行いました。講話をお願いした大澤さん、農山さん、天野さん、森下さんや生産者・旧センターの皆さんとの取組を思い浮かべながら、食について考えました。

【1学期終業式】070718

各学年の先生に「どんなところが成長しましたか?」と聞いてみました。

1年生：長距離走の朝練習に参加している生徒が多くいます。小学生の頃はついていくかなと思っていた人も多かったようですが、先輩に刺激を受けて頑張っています。全体的にきついことの中に楽しみを見つけようという雰囲気ができてきました。

2年生：両クラスとも男女の仲が良く、居心地の良い雰囲気があります。授業中の返事や反応が心地よく、学ぶ姿勢ができてきています。朝自習テストの結果を見ても、地道に勉強している様子が見えるようになってきました。

3年生：競技で勝負という本来の体育大会の姿を大切にした取組ができました。生徒会執行部と各委員会は、何をやっているかが見える活動ができています。行事や諸活動を通して3年生らしい姿に成長しています。テストや説明会、三者面談を通して進路意識が高まり、勉強しようという空気もできてきました。

というように、どの学年も成長の跡が見えました。

さて、中学生にとって明日から勝負の夏休み。「夏を制する者は○○を制する」とはよく聞く言葉です。ですが努力の結果はすぐ出るものではありません。大事なのは継続することです。学期中より自由が利く夏休みは、自分を律し努力を継続するには良い機会です。

勉強、読書、ニュース視聴。頭を鍛える夏にしましょう。

家の手伝い、社会体験、ボランティア活動。心を鍛える夏にしましょう。

駅伝練習、部活動、社会体育、スポーツ活動。体を鍛える夏にしましょう。

最後に長期休業前のいつもの約束です。事故は夏休みの最初と最後の1週間に集中して発生します。4つの車にお世話にならないようにしましょう。

【社会を明るくする運動】070719

「社会を明るくする運動」の標語の入選作品が決定しました。作品は立て看板にして市内各所に掲示されます。写真は二中正門横のPTAヒマワリ園。先週末から咲き始めました。こちらは二中の「社会を明るくする運動」です。

自分から 笑顔でいれば いい気分 1年NSさん
みんなでさ 楽しく過ごす この町で 1年SAさん
本当に 使っていいの そのサイト 1年MMさん
ねえまって 観て見ぬふりも いじめだよ 1年FHさん
薬物で 一つの未来 くずれ散る 2年UJさん
見つけよう いろんな人の いいところ 2年MNさん
手をつなぎ 歩けばきっと 明日がある 2年NTさん
「大丈夫？」 その一言で 救われる 3年FNさん
今どっち？ 傷つける人 救う人 3年YAさん
流されず 自分で判断 良し悪しか 3年HYさん



【カマキリ】070720

大成農園の野菜に虫が集まると、捕食者もやってきます。「カマキリ」の名前は「鎌で切る」から「鎌切り」となったという説と、「キリ」はヤブキリ、クサキリ、ササキリなどのキリギリスの仲間の名に含まれる「キリ」で、「鎌をつけたキリギリス」の意味という2つの説があるそうです。

カマキリは獲物をねらうときに、胸の前でカマをそろえて静止しますが、これが祈っているように見えるということで、「おがみ虫」という方言で呼ぶ地方も多いそうです。英名は「Praying mantis」です。「pray」は「祈る」、「mantis」はギリシャ語で「預言者や占い師」を意味します。

次の話は何ということわざになったでしょう。中国の齊の莊公が獵に行ったところ、ひかれそうになりながら、前足を振り上げ車に向かってくる虫がいた。莊公が家臣に「これは何という虫だ」と尋ねたところ、「カマキリ」という虫で、進むことしか知らず、退くことを知りません。自分の力量をかえりみず相手に立ち向かっていきます」と答えた。莊公は「この虫が人間なら勇士だな」と言って車を避けさせた。『韓詩外伝』
※蠅蠅の斧（とうろうのおの）

【海の日】070721

今日は海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う「海の日」です。田浦に住んでいた子どものころは、御立岬海水浴場も整備されておらず、海水浴場は「太田の浜」が主でした。私が卒業した田浦小学校の旧校歌には「太田の浜の白波に～」、田浦中学校校歌には「朝なぎの太田の浜に新潮光り」と太田の浜が一番の歌詞に読み込まれています。田浦（たのうら）の語源は手浦（てのうら）、手の指のように海岸線が入り組んでいることを表しているそうです。「手（て）」は「手綱（たづな）」のように「た」とも発音します。

では、海に関するクイズを3問。

- 1 海岸線が長い都道府県を順番に5つ答えなさい。
- 2 海がない県はいくつあるでしょう。
- 3 河豚と書いてフグ、水豚はカピバラ、では海豚は？ついでに海狸は？

【答え】

- 1 1位：北海道 4,460km 2位：長崎県 4,183km 3位：鹿児島県 2,666km
4位：沖縄県 2,037km 5位：愛媛県 1,716km
- 2 8つ（栃木県・群馬県・埼玉県・山梨県・長野県・岐阜県・滋賀県・奈良県）
- 3 海豚（イルカ）、海狸（ビーバー）

祝祭日に関連付けて、いろいろなことに興味を持つてくれると嬉しいです。

【1学期の振り返り（執行部）】070722

生徒会執行部代表 FNさん

私が1学期頑張ったことは新入生歓迎行事です。1年生や2・3年生が楽しんでいる姿を見てとても嬉しかったですが、そこに行くまでにとても時間がかかりました。春休みから執行部全員で計画を立てていて「こうした方がみんな楽しめるとと思う」など色々な案を出し合いました。何回も考え直したりして、とても大変でした。うまくいかか心配でしたが、当日の様子を見て、安心し、やりがいを感じることができました。この気持ちを忘れずにこれからも取り組んでいきたいと強く思いました。

そして、2学期に頑張りたいことは、文化祭です。この文化祭は令和七年度生徒会執行部で行う最後の仕事だからです。一年間を振り返って発表をできたらいいなと思います。残り約7ヶ月ほどしかないので、スローガンを達成するために生徒会のみんなで理想を現実にできるように意識し、生徒会活動など頑張っていきましょう。

【二小習会】070723

毎年の夏休みの二小習会の手伝いを二中生の希望者が参加しています。今回は1年生から6年生まで120人近くの児童が参加したことでした。13人の二中生が児童にしっかりと寄り添って質問に答えていました。



【学校運営協議会】070724

14日（月）に今年度第1回の学校運営協議会を開きました。関係の深い二中と二小は、小中9年間を通して地域の子どもたちを育てようというねらいで、第1回と第3回の協議会を合同で開催しています。

今回は二小を会場に、最初に両校長から学校経営方針と児童・生徒の様子について詳細に説明しました。その後の協議では小中共通で取り組むべき項目として「あいさつ（自分からのあいさつができない子どもが増えている）」「交通安全（登下校の様子・自転車の安全な乗

り方・学校への自動車での送り迎えの多さ)」「職業観を育む取組(未来お仕事探検隊・職場体験・職業講話・学校卒業後を見通させる取組)」が話題となりました。

二中生が二小生のあこがれとなるように、二小を会場にした長距離走の練習や、夏休み学習会の手伝い、6年生の二中合唱コンクールの参観などを昨年に引き続きお願いしたい、二小・二中のそれぞれのPTA活動への互いの乗り入れをお願いしたいなど、9年間がつながる取組の提案もありました。

【賑わい】070725

私たち昭和40年度生まれの学年は、今年度に還暦同窓会をすることが多いようです。出身の田浦中は1月2日、水俣二中は10月11日に行うと聞きました。水俣高校は仕事に一区切りついた令和8年11月21日(土)開催で話が進んでいます。

情報交換にSNSが活躍していますが、今週は大きなニュースが二つ入りました。

一つ目は「松本俊造さん(佐敷中出身)の芦北町副町長就任が昨日の臨時町議会で承認されました。」というニュースでした。元水俣市長の江口隆一さん(水俣三中出身)があげてくれました。祝福と「ふるさと納税します」のリアクションでぎわいました。

二つ目は「プロデューサーをしている映画『レイニーブルー』が上映中です。京都でも公開がスタートします。」というニュースでした。熊本を舞台にした高良健吾さんも出演される映画とのことで、熊本の情報番組で見て知ってはいましたが、浜島玲恵さん(水俣一中出身)がプロデューサーまでは知りませんでした。早速、映画の公式HPを見ました。熊本での上映は7月31日までとのことでした。

60歳の還暦は通過点だと感じました。70歳の古希(古来稀なり)もそのうち近普(近年普通)になるのかな。

【大成花壇・大成農園】070726

大成学級と1年生の技術の授業で栽培に取り組んでいます。大成学級前の花壇にはヒマワリ・アサガオ・オクラ、裏の農園にはスイートコーン、キュウリ、ナス、トマト、ズッキーニ、スイカ、サツマイモが育っています。朝夕の水遣りにも時間がかかります。先日は子どもたちがキュウリを収穫し、塩をつけてかじっていました。採れたては格別でしょう。

3年生の有志も自分たちの畠が欲しいといって、昼休みごとに耕してスイートコーンとスイカ栽培に取り組みました。育てたいという気持ちが大事です。

ところで、私は日曜の朝は『ゲンキの時間(健康)』、『がっちりマンデー(経済)』のあと『野菜の時間(園芸)』、『陽だまり屋(園芸)』、『趣味の園芸(園芸)』を梯子して見ています。

以前は「園芸番組なんて誰が見るんだ。」と思っていたが。今は雑誌も購読する始末。見据えるのは健康で文化的な退職後の生活です。



【アラクノフォビア】070727

部屋の掃除をしていたら遭遇。クモが苦手だ。姿、形、ワサワサと移動する格好、死んで裏返った時の足の付け根が特に嫌だ。書きながらも気分が悪くなる。子どもの頃、天井から体のすぐそばに大きなクモが落ちてきて…………腰が抜けた。

中学生の頃、私のクモ嫌いは有名で、BINに詰めたクモを持ったバレーボール部の先輩から追いかけられたこともあった。夜のクモ（コブ）は夜コブ（喜ぶ）といって縁起が良いと聞かされても、それはそれ、友達になろうとは思わない。

それでもなぜかクモの本を数冊持っている。テレビで特集があるとビデオに撮ってしまう。『アラクノフォビア（クモ恐怖症）』や『スパイダーパニック』という映画はDVDまで持っている。しかも、子どもの頃に数匹のクモを虫かごで飼ったこともある。木の枝にコガネグモを集めてまわる。子どものすることは矛盾だらけだ……、が怖いもの見たさは人の習性。

我が家は祖父の代からクモが苦手。その流れが私にも刷り込まれたようだ。この流れを断ち切るために子どもの前では平気なふりをしてきたが、実は冷や汗、鳥肌、頭痛、めまい。『クモのはなし』という本の中に、クモの食べ方という話があった。国によっては比較的動きの遅いクモは重要なタンパク源となっている。串に刺して、足をもいで、焼いて・・。ジャガイモを生で食べたような味がするそうである。

あああ、書きながらめまいが・・・。

【1学期の振り返り（2年生）】070728

2年生代表　U.Iさん

私は2学期に頑張ったことが3つあります。

一つ目は無言清掃です。私語をせずに集中すると、普段は見逃してしまいそうな小さなごみや汚れに気づくことができます。このことから私は私語をせずに掃除に集中することが大切だと気付きました。

二つ目は勉強です。分からないところはそのままにしないようにしました。苦手な問題があると後回しにしてしまうことがありました。でも一学期は分からないところがあつたらできるだけすぐ先生や友達に聞くようにしました。このことを積み重ねたことで、テストの点数も少しずつ上がっていきました。

三つ目は部活動です。部活動で特に心掛けていたのは自分から行動することです。ただ練習に参加するのだけでなく準備や片付け、声掛けるなど、チームのためにできることを自分から見つけて動くようにしました。部活の中では悔しいことや思うようにいかないこともあります。でもそのたびに前に進もうと努力することができました。

私が2学期に頑張りたいことは発言と発表です。私は授業中に手を挙げたり、自分の意見を言ったりすることが苦手でした。そこで2学期はまず授業中に一度は手を挙げてみたり、友達との会話の中でも遠慮せずに自分の考えを変えたりできるようにしたいです。不安もあるけれどやってみようという気持ちを忘れずに進んでいきたいです。

【騙される】070729

意外に思われるかもしれません、体育的な才能は遺伝しない（諸説あります）そうです。ただ、体型については遺伝的要素が強いし、スポーツ好きの親は、子どもに小さい頃からスポーツ的な遊びをさせる傾向にあるので、自然とスポーツに親しむ習慣ができ、体育的な才能が遺伝したように見えるらしいです。

私自身、小さな頃は親と運動をして遊んだ記憶もないし、母によると家のどのどこにいるのかわからぬくらい静かに本を読んで過ごす子どもだったそうです。

足も遅く、運動がとにかく苦手でした。しかし、子どもは成長するものです。6年生の頃に身長は170cmを越えていたので、それまでは体格に筋力が追い付いていなかったのですが、急に走るのも速くなりました。高跳びの授業でとても良い記録が出て、担任の先生に褒められました。ちょっと運動に興味が向きました。

中高では、当時は県内でも背が高い方でしたので、バレーボールの試合に行くたびに色々な学校の先生から声をかけていただきました。また騙されました。

何事も嫌だと思えばとことん嫌になっていきます。好きだと思えばとことん好きになっていきます。好きになるきっかけは人がつくってくれることも多くあります。

二中生の皆さん、勉強もスポーツも、人との関係づくりも、あえて先生に騙され続けてみてください。

【鍛える夏】070730

二中の夏、鍛える夏。

昨日からバレー部も参加して、40名を超える二中生が朝の長距離走練習に頑張っています。今年は体づくりで参加している生徒も多くいます。塩分タブレット補給、給水時間の確保、熱中症対策もしっかりしながら頑張っています。休憩時間の木陰は天国です。



【セミ】070731

出勤時間帯の職員玄関前の樹木ではセミの大合唱。オスの腹腔内には音を出す発音筋と発音膜、音を大きくする共鳴室、腹弁などの発音器官が発達していて、発音筋を1秒間に2万回振動して音を出し、メスを呼びます。



ニイニイゼミは一日中、クマゼミとミンミンゼミは午前中、アブラゼミとツクツクボウシは午後、ヒグラシは朝夕、などと鳴く時間が大別されますが、比較的涼しい朝夕が沢山の種類の声が聞こえるそうで、なるほど出勤時刻です。

幼虫として地下生活する期間は短い種では2年、長い種では17年と昆虫としては寿命が長いですが、成虫になってからの寿命は1か月程度です。以前は1週間とか言っていましたが、研究が進んで分かったそうです。

羽音を立てながらかなりの速度で飛びますが、止まれそうだと判断した場所に手あたり次第に突進する習性があるため、壁や枝にぶつかりながら飛ぶ姿もよく見かけます。

子どもたちが保育園児の頃、帰宅後に必ずしていたのは、全てのポケットをひっくり返してダンゴムシやセミの抜け殻が入っていないかチェックすることでした。セミを大量に捕まえてきて、家の中で放したこと也有ったそうです。この前は従兄弟と「優しいじいちゃんからはじめてすごく叱られた」と昔を懐かしんでいました。

「洗濯機 ぐるぐる回る ダンゴムシ」 才能有りでお願いします。